

科目ナンバー： MmC0011

授業コード： 6630990400

講義科目名称： 専門分野別課題研究 I (助産師コース)

英文科目名称： Research of Midwifery I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	助産師必修
担当教員			
◎増澤祐子、常盤洋子、八巻ちひろ、五十畑麻奈美、塚田文枝			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎増澤 祐子	新潟県立看護大学	311	masuzawa@niigata-cn.ac.jp
	常盤 洋子	同上	320	yotokiwa@niigata-cn.ac.jp
	八巻 ちひろ	同上	309	cyamaki@niigata-cn.ac.jp
	五十畑 麻奈美	同上	共同研究室 2	isohata@niigata-cn.ac.jp
	塚田 文枝	同上	共同研究室 2	ftsukada@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】	専門科目		
	【DP 1】 【DP 2】 【DP 3】 【DP 4】 【DP 5】			
	研究			
	CNS			
	助産	○	○	○
			◎	○

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助産ケアに関連するガイドラインや看護理論、研究成果のクリティークの方法を述べることができる。</li> <li>2. 母性看護・助産ケアに関する文献検討や看護実践から見出した自己の研究疑問を説明し記述できる。</li> <li>3. 自己の研究課題について文献検索とクリティークを行い、研究課題を明確化することができる。</li> <li>4. 自己の研究課題における学術的背景と問題の所在を説明し記述できる。</li> <li>5. 自己の課題研究の問題の所在に即した研究目的と研究の意義を説明し記述できる。</li> </ol>
------	--

授業概要	助産ケアに関連するガイドラインや看護理論、国内外の文献のクリティークを通してエビデンスとして活用できる研究成果を見出し、助産ケアに寄与する課題研究のテーマを設定する。
------	---

授業計画	<p>1 授業内容          授業形態：講義          学修課題：専門別課題研究 I II III のガイダンス          学修内容：オリエンテーション          事前学修：シラバスを確認する          事後学修：課題研究の進め方をまとめる          備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p> <p>2 授業内容          授業形態：演習          学修課題：研究課題の探求          学修内容：自己の研究課題をまとめる          事前学修：自己の研究課題の背景を調べる          事後学修：自己の研究課題の背景をまとめる          備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p> <p>3 授業内容          授業形態：演習          学修課題：文献検索とクリティーク          学修内容：自己の研究課題に関する文献検索とクリティーク          事前学修：自己の研究課題の背景を調べる          事後学修：自己の研究課題の背景をまとめる          備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p> <p>4 授業内容          授業形態：演習          学修課題：研究課題に向けての文献検討・クリティーク          学修内容：自己の研究課題・研究の問いについてまとめる          事前学修：自己の研究課題の背景を調べる          事後学修：自己の研究課題の背景をまとめる          備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p>
------	---

5	<p>授業内容            授業形態：発表・討論            学修課題：自己の研究課題の明確化（1）            学修内容：自己の研究課題の明確化            事前学修：自己の研究課題の背景と目的をまとめる            事後学修：討論の内容を受けて自己の研究課題を修正する            備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p>
6	<p>授業内容            授業形態：演習            学修課題：自己の研究課題の明確化（2）            学修内容：自己の研究課題の明確化            事前学修：自己の研究課題の背景と目的をまとめる            事後学修：前回までの講義内容を受けて自己の研究課題を修正する            備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p>
7	<p>授業内容            授業形態：演習            学修課題：研究課題における学術的背景と問題の所在（1）            学修内容：自己の研究課題における学術的背景と問題の所在            事前学修：学術的背景を調べる            事後学修：学術的背景をまとめる            備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p>
8	<p>授業内容            授業形態：演習            学修課題：研究課題における学術的背景と問題の所在（2）            学修内容：自己の研究課題における学術的背景と問題の所在            事前学修：学術的背景を調べる            事後学修：学術的背景をまとめる            備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p>
9	<p>授業内容            授業形態：演習            学修課題：研究課題における学術的背景と問題の所在（3）            学修内容：自己の研究課題における学術的背景と問題の所在            事前学修：学術的背景を調べる            事後学修：学術的背景をまとめる            備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p>
10	<p>授業内容            授業形態：発表・討論            学修課題：研究課題における研究目的と意義（1）            学修内容：自己の研究課題における研究目的と研究の意義            事前学修：学術的背景から研究課題と目的、意義をまとめる            事後学修：学術的背景から研究課題と目的、意義を修正する            備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p>
11	<p>授業内容            授業形態：演習            学修課題：研究課題における研究目的と意義（2）            学修内容：自己の研究課題における研究目的と研究の意義 発表・討議            事前学修：学術的背景を調べる            事後学修：学術的背景から研究課題と目的、意義を修正する            備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p>
12	<p>授業内容            授業形態：演習            学修課題：研究課題における研究方法 文献クリティーク（1）            学修内容：自己の研究課題における研究方法 文献クリティーク            事前学修：文献検討が必要な用語を検討する            事後学修：文献検討を行う            備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p>
13	<p>授業内容            授業形態：演習            学修課題：研究課題における研究方法について文献クリティーク（2）            学修内容：自己の研究課題における研究方法            事前学修：文献検討が必要な項目を検討する            事後学修：文献検討を行う            備考：常盤・八巻・五十畑・塚田</p>
14	<p>授業内容            授業形態：演習            学修課題：研究課題における研究方法について文献クリティーク（3）            学修内容：自己の研究課題における研究方法とその根拠            事前学修：文献検討が必要な項目を検討する            事後学修：文献検討を行う            備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p>
15	<p>授業内容            授業形態：発表・討論            学修課題：研究計画書の作成            学修内容：研究計画書作成に向けての討議            事前学修：研究計画書をまとめる            事後学修：講義でのコメントを受けて研究計画書を修正する            備考：常盤・増澤・八巻・五十畑・塚田</p>
事前・事後学習	<p>授業の前後を通して、関心のある研究テーマについて大学院生同士でディスカッションをして、テーマ設定に向けて自己の考えを言語化する。</p>

評価方法、評価基準	到達目標 1～5に対して、レポート70%、プレゼンテーション30%を総合的に判断する。
テキスト	最新の論文や文献を使用するため、現時点では指定せず授業内で案内する。
参考図書・資料等	必要時提示する。
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は必ず担当教員に事前にメールで連絡すること。 プレゼンテーション資料はどこカレに提出すること。 プレゼンテーション、ディスカッションは学生が進行する。
教員からのメッセージ	助産ケアのエビデンスとして活用できそうな情報収集に努め、主体的に関心のある研究テーマに関する文献をクリティークする習慣をつけることを期待する。
オフィスアワー	随時（メール調整）対応する。